

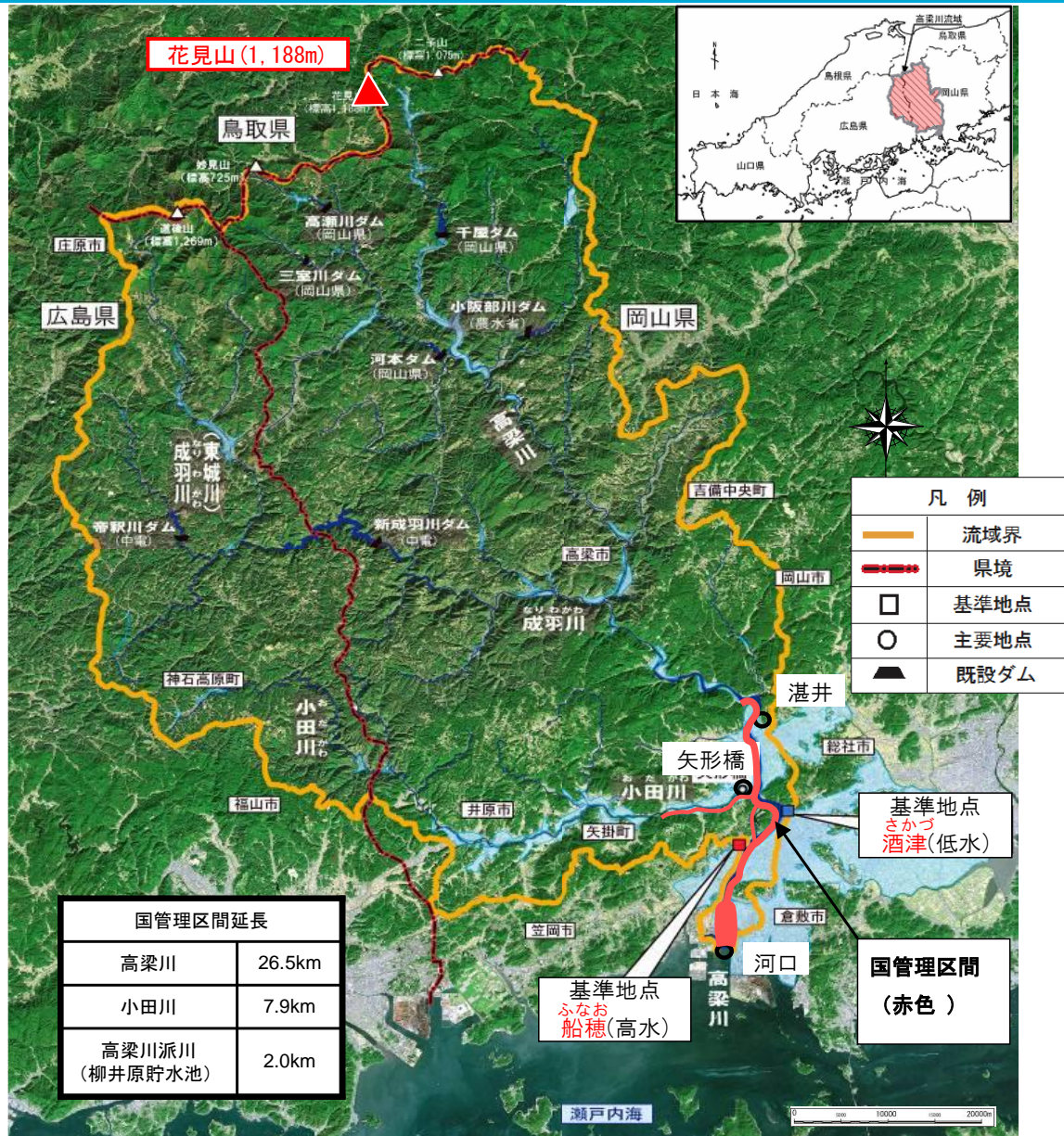
# 小田川における かわまちづくりの取組について

1. 流域の概要
2. 小田川付け替え事業の概要
3. かわまちづくり整備内容
4. 工事中における環境配慮への取組
5. 河川協力団体と協働した除草管理の取組み

# 1. 流域の概要(1/2)

流域面積 : 2,670km<sup>2</sup>  
 幹川流路延長: 111km  
 源流 : 花見山(標高1,188m)

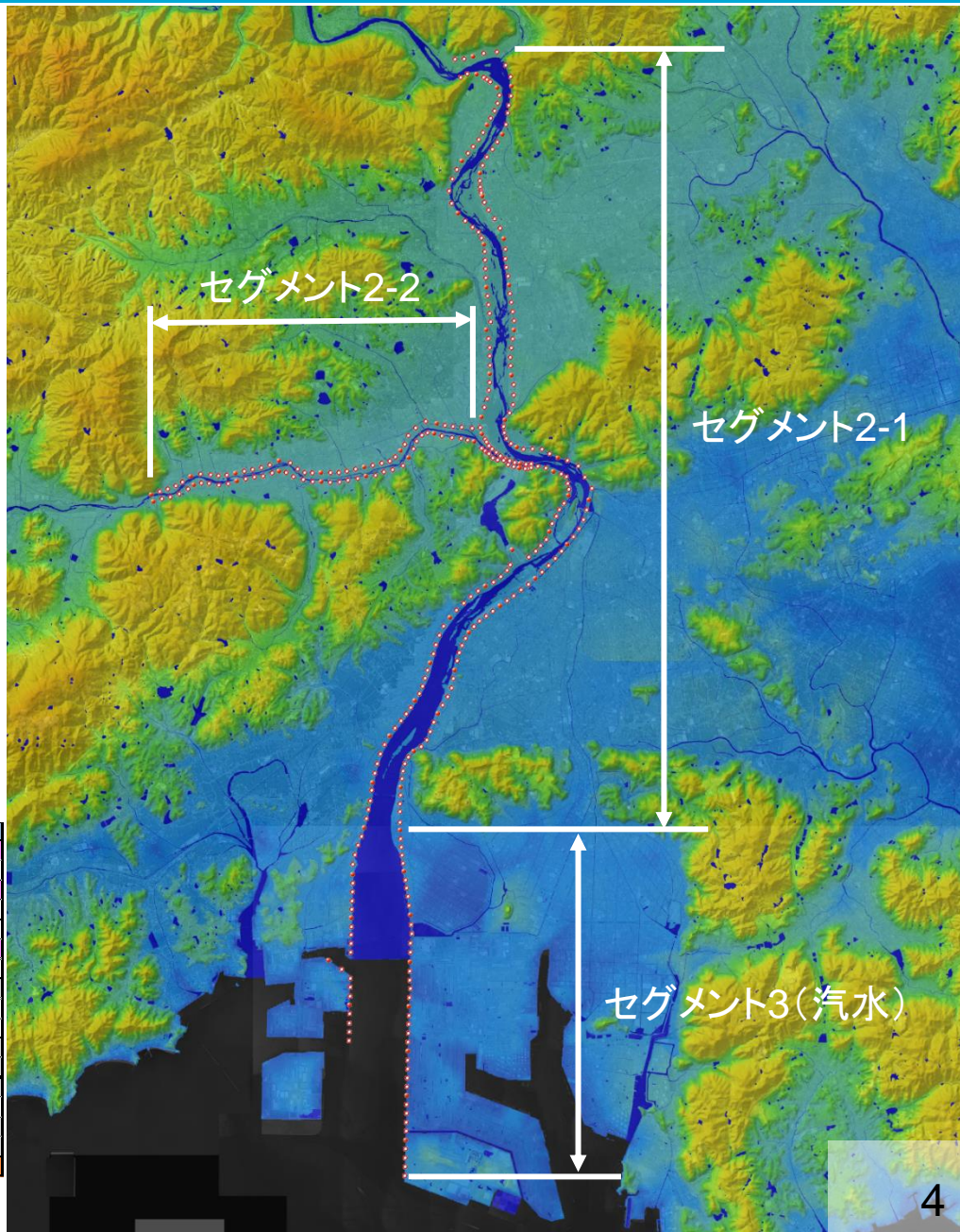
管理区間: 高梁川 26.5km  
 小田川 7.9km  
 高梁川派川 2.0km



# 1. 流域の概要(2/2)

## 河川環境区分

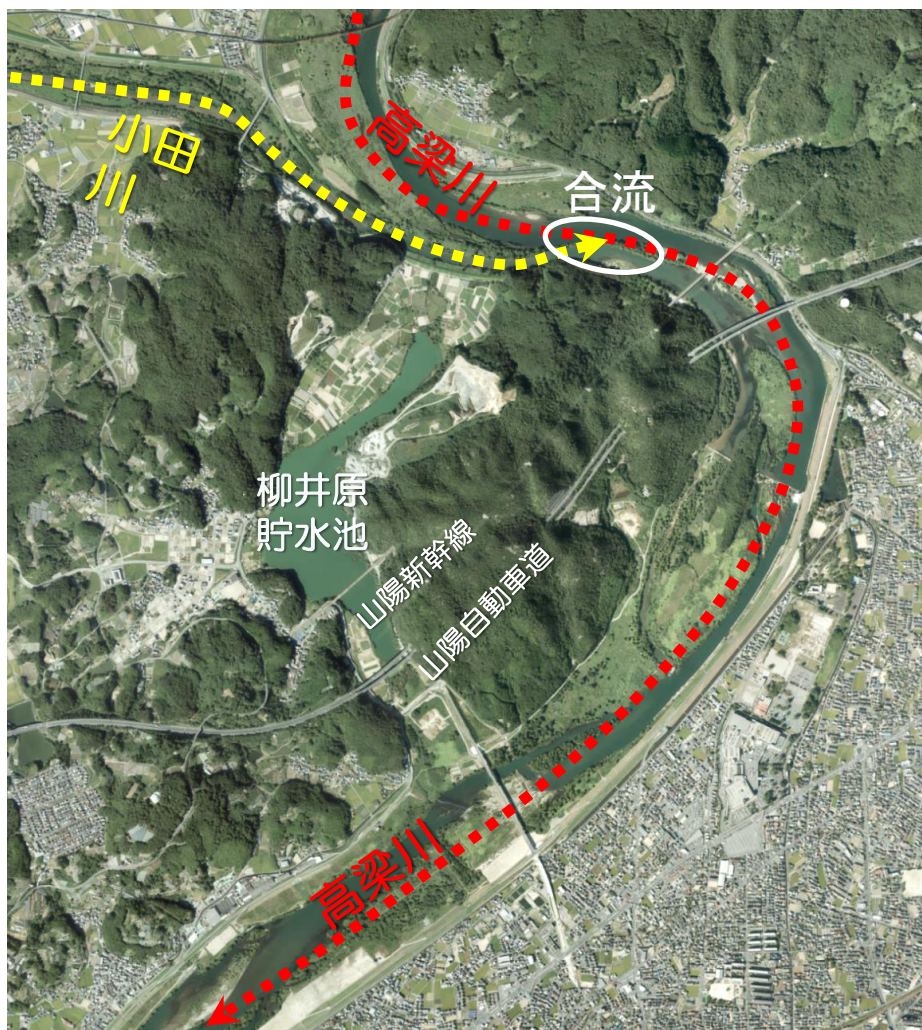
距離標(空間単位:1km※)		-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7
※距離標1:1~2km区間													
河川環境区分		区分5(高梁川派川)					区分6(小田川)						
河川区分	河川区分						下流部						
	大セグメント区分						セグメント2-2						
	小セグメント区分	2-2-①		2-2-②			2-2-③						
堤内地の景観	右岸側	工業地帯	宅地	田畑	果樹園	田畑	田畑	山地					
	左岸側	山地		田畑、宅地	田畑、宅地	田畑、宅地	田畑、宅地	山地					
周辺の地形・地質	自然堤防帯												
河床勾配(平均河床高)	新川区間					1/2,553		1/1,143					
	河床材料					砂泥		小礫		砂礫			
川幅(河道幅・水面幅)													
横断工作物						□宮田堰		□八高堰					
支川の合流	●福原谷川 ●真谷川 ●岸谷川 ●徳掛川 ●東政川 ●内山谷川 ●大武谷川												
特徴的な狭窄部	特になし												
自然再生													
課題:	小田川代替による流水環境への変化					大規模な河道掘削・樹木伐倒による環境の変化							



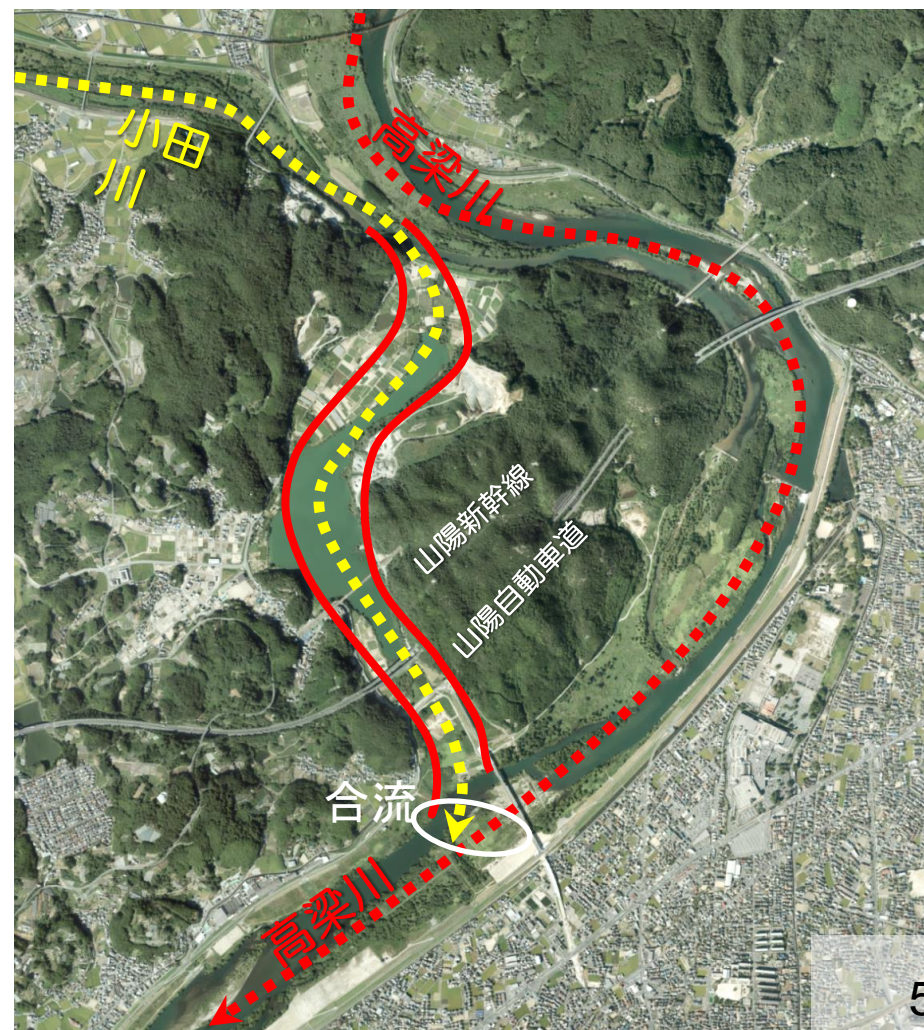
## 生物の生息場の分布状況

距離標(空間単位:1km)		-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	
典型性	陸域	1. 低・中茎草地	△	○	△	○	○	○	○	△	△	△	△	○
		2. 河辺性の樹林・河畔林	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
		3. 自然裸地				△	△	△	△	△	△	○	○	○
		4. 外来植物生育地		×	×	△	×	×	△	×	×	△	×	△
	水際域	5. 水生植物帯		○	○	△	×	×	△	×	×	△	△	△
		6. 水際の自然度	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
		7. 水際の複雑さ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
		8. 連続する瀬と淵	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	水域	9. ワンド・たまり		△		△	△	△	○		△	△	△	△
		10. 湛水域		×	△						△	△	△	△
		11. 干潟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		12. ヨシ原	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊性	礫河原の植生域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	湧水地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	海浜植生帯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	塩沼湿地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
生息場の多様性の評価値	0	0	2	1	1	1	4	2	2	3	0	3		

## 付替え前



## 付替え後

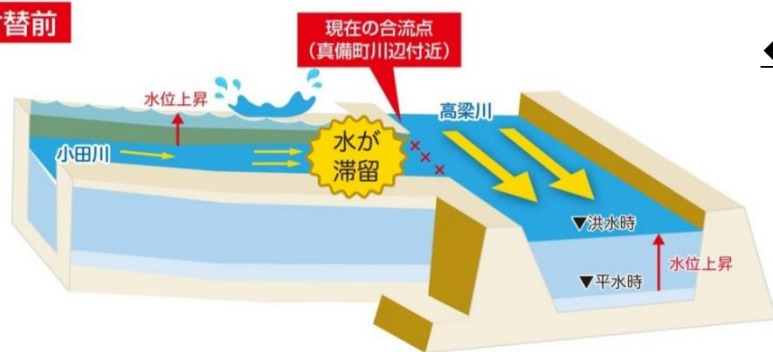


## 2. 小田川付け替え事業の概要(2/2)

### 【効果】

- 洪水時の高梁川の影響が軽減され、小田川の水位が低下。
- 小田川合流点を下流に付替えることにより、酒津地点の水位が低下し、倉敷市街地の氾濫に対する安全性を向上。

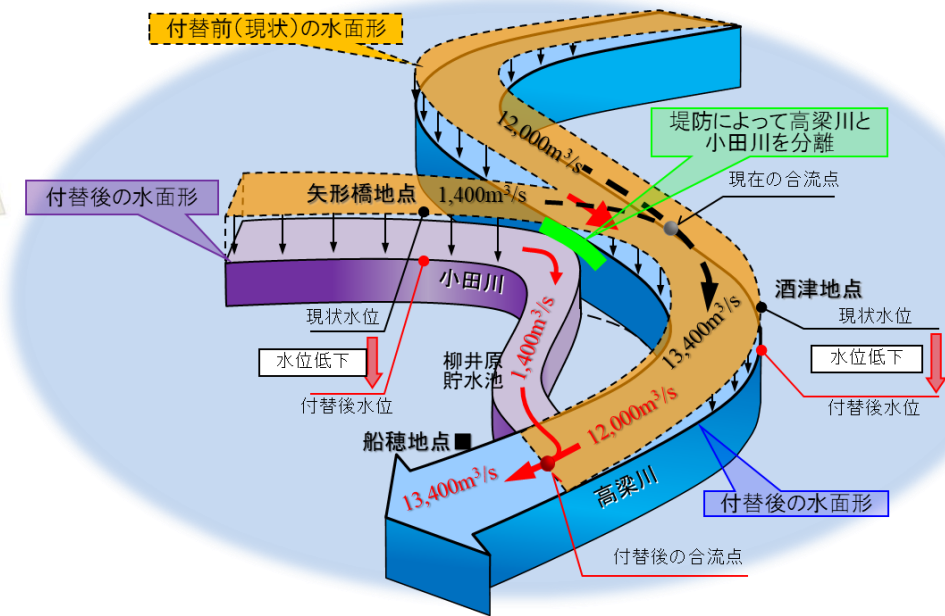
#### 付替前



#### 付替後



### ◆計画規模



※高梁川本川の計画高水流量流下時

### 3. かわまちづくりの整備内容(1/8)

コンセプト：「真備地区の自然や歴史とふれあう交流空間づくり  
～未来につなぐ安心・安全のかわまちづくり～」

●基本方針：

- ・水辺に親しみながら人々が交流できるレクリエーションの場を創出することで、自然と人、人とひとのつながりを深め、地域の活性化に貢献する。
- ・防災拠点や安心・安全な水辺空間を整備し、住民が川とふれあう機会を創出することで、災害の記憶を未来につなぐ復興まちづくりを目指す。
- ・市民や地域を訪れた人が水辺を散策・サイクリングできる動線を確保するとともに、まちなかと回遊できるネットワークを構築し、真備地区の自然・歴史資源をつなぎ、地域の魅力向上を図る。



### 3. かわまちづくりの整備内容(2/8)

#### 水辺拠点空間の整備

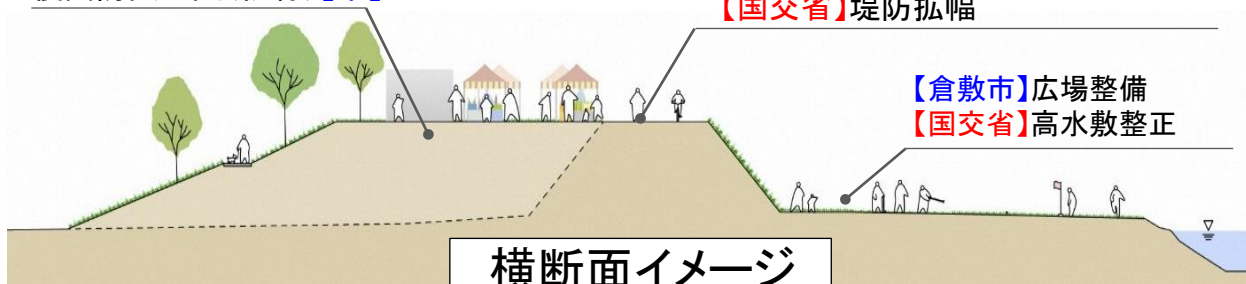
防災拠点にもなる公園や高水敷広場を、真備緊急治水対策プロジェクトで整備される堤防と一体的に整備し、水辺拠点空間(復興防災公園[仮称])を創出する。

#### 水辺ネットワークの整備

公園等の拠点空間や既存の水辺の楽校等の水辺空間等をつなぐ歩行者・自転車の水辺通行空間を、堤防拡幅や高水敷整正と一体的に整備し、地域資源のネットワーク化を図る。



復興防災公園(仮称)【市】



【倉敷市】サイクリングロード整備

【倉敷市】案内看板の設置等

【国交省】堤防拡幅

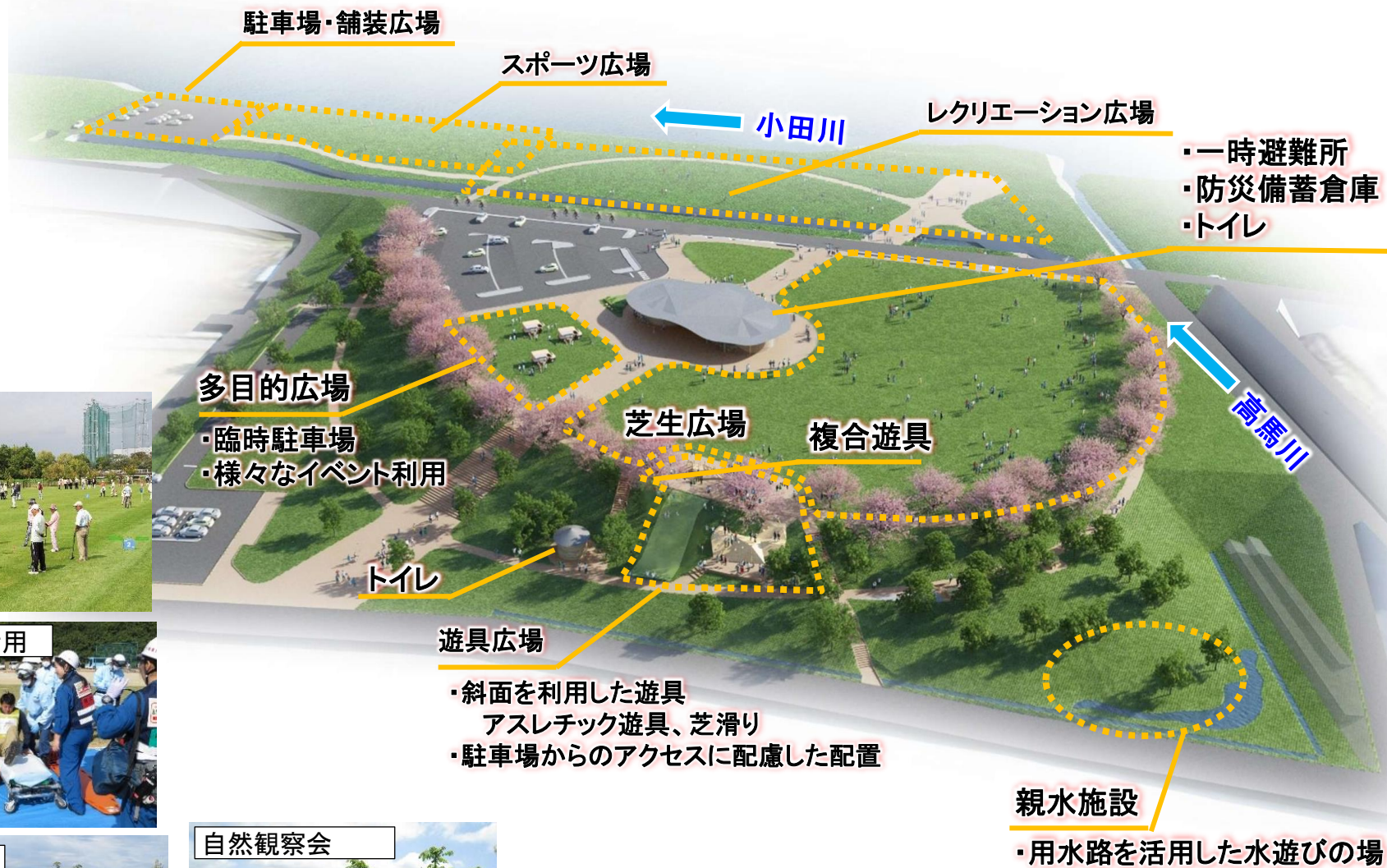
【倉敷市】広場整備

【国交省】高水敷整正

横断面イメージ



# 3. かわまちづくりの整備内容(4/8) 復興防災公園イメージパース



※画像はイメージであり、今後の詳細設計等の結果により変更する可能性があります。



伊東倉敷市長あいさつ



地元小学生



地域住民

### 3. かわまちづくりの整備内容(6/8)



芝生化前(令和5年7月撮影)



芝生化後(令和5年9月撮影)

### 3. かわまちづくりの整備内容(7/8) 橋梁地点のアンダーパス整備

県道倉敷美袋線と小田川河川管理用通路との交差点は横断歩道もなく、上下流の移動は危険を伴うのが現状。

⇒その対策として、橋の下をくぐるスロープ形式のアンダーパスを設置。  
県道の車両を気にすることなく、上下流の移動が可能となり、散歩やサイクリングに活用出来る。



### 3. かわまちづくりの整備内容(8/8) アンダーパス完成式典



地元の皆さんとテープカット



利用状況



## 貴重生物の保護移動

- ・河川敷に設置されている堤外水路には、タナゴ類の産卵母貝である二枚貝が生息。
- ・今回、川裏側と川表側の公園をつなぐ導線に園路を設置するため、貴重種の調査を実施し、保護移動を行った。



# 4. 工事中における環境配慮の取り組み(2/2)

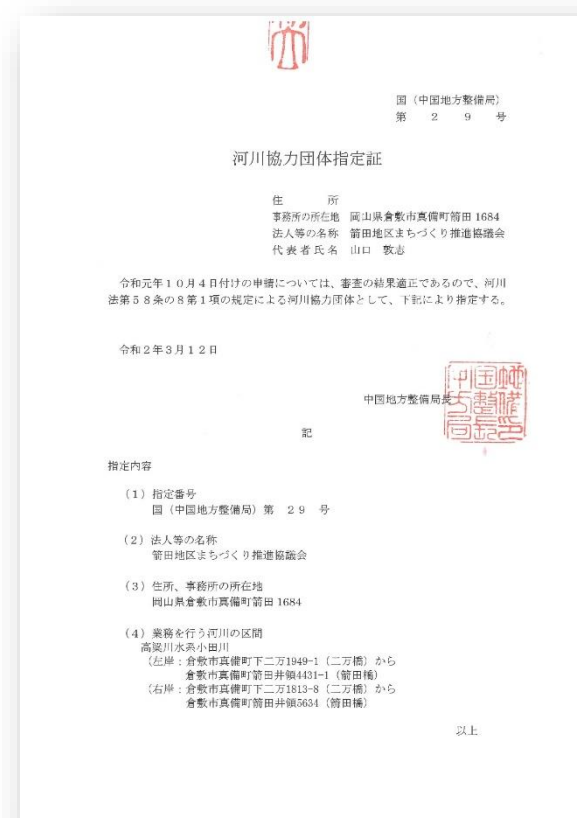


## 河川協力団体：箭田(やた)地区まちづくり推進協議会(令和2年3月12日認定)

箭田地区まちづくり推進協議会は、平成12年に発足し、地域コミュニティの推進を図ることを目的に5つの班から構成される協議会です。各班は、環境美化・エコ、福祉、青少年育成、防犯・防災、健康づくりに分類され、様々な視点から地域の課題に取り組んでいます。



豪雨災害の翌年、令和元年の草踏みイベントの様子



国(中国地方整備局)  
第 2 9 号

### 河川協力団体指定証

住 所  
事務所の所在地 岡山県倉敷市真備町箭田 1684  
法人等の名称 箭田地区まちづくり推進協議会  
代表者氏名 山口 敦志

令和元年10月4日付けの申請については、審査の結果適正であるので、河川法第58条の8第1項の規定による河川協力団体として、下記により指定する。

令和2年3月12日

中国地方整備局長



記

#### 指定内容

- (1) 指定番号  
国(中国地方整備局)第 2 9 号
- (2) 法人等の名称  
箭田地区まちづくり推進協議会
- (3) 住所、事務所の所在地  
岡山県倉敷市真備町箭田 1684
- (4) 業務を行う河川の区間  
高梁川水鼻小田川  
《左岸：倉敷市真備町下二万1949-1(二万橋)から  
倉敷市真備町箭田井領4431-1(箭田橋)》  
《右岸：倉敷市真備町下二万1813-8(二万橋)から  
倉敷市真備町箭田井領5034(箭田橋)》

以上



## ◆ 検討内容

- ① 除草(草の成長抑制)手法の検討  
地域住民でできる、除草のやり方を検討



ローラー踏み



トンボがけ



タイヤ引き



乗用式草刈り機

## ②除草(草の成長抑制)の頻度の検討

河川敷きが利用できるレベルの定期的な管理として、適切な除草回数検討



区画	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8
作業内容	ロー ・ ラ ・ 掛け	ロー ・ ラ ・ 掛け	ロー ・ ラ ・ 掛け	草刈り	タイヤ引き	トンホ・ 掛け	トンホ・ 掛け	放置
時期	1回/月	1回/月 (10月迄)	1回/2ヶ月 (6月迄) 2回/月 (7月~)	1回/月	1回/月	1回/月	2回/月	

区画	A1	A2	A3	A4	A8	A7	A6	A5
作業内容	ロー ・ ラ ・ 掛け	ロー ・ ラ ・ 掛け	ロー ・ ラ ・ 掛け	草刈り	放置	トンホ・ 掛け	トンホ・ 掛け	タイヤ引き
時期	1回/月	1回/月 (10月迄)	1回/2ヶ月 (6月迄) 2回/月 (7月~)	1回/月		2回/月	1回/月	1回/月

## ③ 除草管理を行うことで植生の変化をモニタリング 定期的な除草することで、管理前に比べ植生が どのように変化するか植生調査も実施

月	区画	計測区画の状況コメント
6月	A1	なよふじが減っている・ホソムギ・ニガヨモギ多い
6月	A2	ホソムギが混じる、花が咲き種がついている、茶色になっているムギも多い
6月	A3	川より2割ほどヨシが進出オギと混ざっている、オギにヤブカラシが巻き付いている
6月	A4	草が枯れてところは日当たりがよいためか芝が出てきた、オギの背丈はひくい、ヤブカラシがととも多い
6月	A5	オギがとともきれいにそろっている、背も高く元気がよい
6月	A6	ヤブカラシが多い、ナヨ草フジが終わっている
6月	A7	可愛いススキが生えてきている
6月	A8	カヤネズミの巣がある、アザミも枯れて種になっている、ナヨ草フジ、ニンジン葉、ヤブカラシが混在している、オギの背丈は高止まりであろうか？
7月	A1	境がわからないくらいの大草になっている。日曜日には大分草が起きてきた草刈後違う草が出てきたヤブカラシ多い
7月	A2	A1・2・3とも同じ状況だった○日40CMくらい水が来ていたクサカラシ、オギが多くヤブカラシは少々
7月	A3	青ゲイトウがよく出てきた低い草クローバーなどが出てきた土はよく乾いている
7月	A4	草ゴミが多かった枯草をどけたら下にシバがあるヤブカラシ多しカヤツリグサが多い
7月	A5	草刈をしてリセットしたヤブカラシ多い
7月	A6	草丈が高く境が全く分からない草刈りをしてリセットしたヨモギ、ヤブカラシ、シートが青々しい
7月	A7	ヤブカラシでひもが埋まるほど巻き付いていた流れてきた草ゴミ多し草刈りをしてリセットした
7月	A8	ヤブカラシ、オギ、中国製ヨモギが多い



植生・生物調査

## その他の活動

### ・芝植え活動



### ・マレットゴルフ体験



### ・河川敷きで防災イベントの実施



## 【学識者】

岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 中田 和義教授

## 【地域の関係団体】

箭田(やた)地区まちづくり推進協議会(河川協力団体)  
NPO法人 倉敷水辺の環境を考える会

## 【調査設計関係者】

株式会社隈研吾建築都市設計事務所(建築)  
株式会社建設環境研究所 広島支店(河川設計)

## 【工事関係者】

天野産業株式会社

